

学校法人東京国際フランス学園
令和 6 年 6 月 12 日 開催
評議員会決議録（翻訳）

日時 令和 6 年 6 月 12 日
場所 学校法人 東京国際フランス学園

出席評議員：13 名

- ニコラ・ティリエ：仏大使館公使
- エリック・モレ：仏大使館大学交流・フランス語担当官
- アンヌロール・カンペルス：法人事務局長・校長
- クロード・ウレン：法人総務部長
- ジャンイドリス・ラグヴァン：副校長
- リシャール・テソニエール：幼児・初等科校長（管理長）
- フィリップ・フリッチ：保護者代表
- ピエールフランソワ・ヴィルキャン：保護者代表
- ティエリ・コンシニー：在日フランス人選挙区選出議員
- フランソワ・ルーセル：在日フランス人選挙区選出議員（17 時 10 分に到着）
- パトリック・パション：卒業生代表

出席評議員（オンライン）：2 名

- ギヨム・カリオ（オンライン）：仏在外教育庁アジア圏代表
- フレデリック・ペニヤ（オンライン）：仏大使館次席参事官

欠席評議員：8 名（予め意見表明）

- フィリップ・セトン：駐日大使
- シャルランリ・ブロソー：仏大使館文化参事官
- ティエリー・ヴィアル：仏教育省視学官（在ハノイ）
- リヨネル・ヴァンサン：フランス商工会議所代表
- マルクアントワーヌ・ユロー：仏大使館領事
- ジャンクリストフ・ビヨー：仏大使館副領事
- クリスティヌ・シモン：仏大使館総務部長
- ジェシカ・ンクンバ・ンクンバ：仏大使館会計官

欠席オブザーバー

- マリージョゼ・マリー：在日フランス人選挙区選出議員
- アレクサンドル・ジョリ：在日フランス人選挙区選出議員

投票者合計：20 名

開会：17 時 5 分

書記：ジャンイドリス・ラグヴァン氏 副書記：フィリップ・フリッチ氏

カンペルス校長は皆に感謝の意を述べる。本日の定足数の確認後、17 時 5 分に開会となる。

1. 議長の選任

ニコラ・ティリエ氏が全会一致で本会の議長に選任される。

2. 2024 年 3 月 11 日開催の評議員会議事録の承認

特に指摘もなく、全会一致で承認される。
在日フランス人選挙区選出議員ルーセル氏が到着。
投票者は 21 名となる。

理事・評議員の変更

- クロード・ウレン代表理事（法人総務部長）/評議員の任期満了による退任（2024 年 8 月 31 日付）
⇒新総務部長 モラッド・ダマヌ氏が 2024 年 9 月 1 日より同職に就任する。

3. 評議員の構成に係る修正（第 1 回目の説明）

カンペルス校長が、評議員会メンバーの構成に関する修正事項について説明する（添付書類参照）。この修正作業は現評議員と協議の上行われ、遅くとも 2024-2025 年度の第 2 回評議員会及び第 2 回理事会で提出される。

東京都によると、評議員メンバーと理事会のメンバーの兼任はできなくなり、そのため法人寄附行為の変更が必要となると校長が説明。
在日フランス人選挙区選出議員の一人が、新たなメンバー構成とポストの分配によるインパクトについて質問する。校長は、必ず評議員に含めなくてはならないメンバーはリセの卒業生（及び学校職員）であると説明する。よって変更後は、校長と経理・総務部長は評議員メンバーではなく、オブザーバーとなる。

議長が本日、決定しなくてはならない事項はないと説明する。

4. 2023 年 - 2024 年度決算報告

ウレン経理・総務部長が決算報告書を発表し、収支バランスをとるという当初の目的は達せられたと説明する。

在日フランス人選挙区選出議員のルーセル氏が、学習補助員費用の奨学金支払いについて質問する。

ウレン氏は、2023-2024 年度の学習補助員費に係る奨学金はまだ受け取っていないと答える。

ルーセル氏は、本年度生じた 50%の黒字を、予定されている学費の値上げや奨学金の割当てにまわすことはできないかと尋ねる。

校長がこれではできないと答える。なぜならこの黒字額は運営費及び主要な設備投資に必要なからである。学校の存続を脅かすわけにはいかない。

ウレン氏も、この額はこの先必要となる金額に比べれば取るに足らないと説明する。リセの自立運営資金は 72 日分しかなく、必要とされる 180 日には程遠い。

コンシニー氏が、給食、スクールバス、情報処理部門の外部委託予算のリスクについて質問する。

ウレン氏は、シザーズキッチンと結んだ契約のおかげで、インフレや原材料の値上げにもかかわらず、過去 2 年間、給食費は上がらなかったと再度説明する。2025 年-2026 年度には、新しい契約を締結する必要がある、おそらくインフレが価格に大きな影響を与えることになるだろう。

ペニヤ氏が運営費に関する問題を提起する。

ウレン氏は、2025 年は自立可能日数が 90 日となる予定であるが、それでも推奨される 180 日以下となっていると説明する。

校長がスクールバスの問題を切り出す。我々はかつてない状況に置かれている。入札により現在の業者が選ばれたが、構造的なドライバー不足のため、現在、6 つの路線のうち、3 つしか提供されていない。またバス費用については悲観的に考えていると述べる。リセは他の運送会社にも連絡を取ったが、各社がそれぞれ独自の運搬・車両システムをもっていることを確認した。検討されている解決策の一つは、必要なバスと運転手の数を確保するため、複数の業者を組み合わせることであるが、さらなる問題は、利用可能なバスのほとんどが大型バスであるということである。これらの大型バスは学校の入り口まで到達できないため、幹線道路沿いに駐車し、生徒たちはここで降りて学校まで歩かなくてはならない。このやり方は安全上のリスクをもたらし、また子供たちに付き添わせる補助員を追加で雇用する必要も出てくる。よって役員事務局としては、中型のバスを優先していく予定である。

フリッチ氏がバスを購入する可能性はないのかと尋ねる。

これについては（バスのリース）調査中であるが、ドライバーの雇用とパーキングの問題が発生すると校長が述べる。よってこの方法が 2024 年度新学期に実施される可能性はない。

保護者代表が、バス費用の値上げと所要運行時間について質問する。

カンペルス校長は、通知されているバス料金（値上げ済）以上に支払う必要は無いと説明する。もし赤字となった場合は学校が補填しなくてはならないだろう。運行時間であるが、さらに路線が減った場合は、乗車時間も長くなる可能性がある。ただこれについては、運送会社から正確な情報が提供されるまではわからない。

ヴィルキャン氏が、リセのサイトを通して日本に来る新しい家族にリセに連絡を取るよう勧めてはどうかと発言。また、スクールバスの利用登録状況はどうなっているかと尋ねる。

テソニエール氏は、幼児・初等科の再登録率には変更がないと答える（92%）。

パション氏が、学費の値上げのせいでスクールバスの登録を見合わせた家族がいたかと尋ねる。カンペルス校長は、2、3 の家族がその理由で登録しなかったと答える。

フリッチ氏が、学費が値上がりしたことで、例年と比べ支払いの遅延が多かったかと質問する。カンペルス校長は、通常より分割払いの依頼が増えたが、支払いの遅れが特に増えたということではなかったと説明する。今日の時点で、支払いが 2 カ月以上遅れている家庭が 11 件、また新学期から一度も支払いをしていない家庭が 1 件となっている（後者は、経済上の理由ではなく、学費の値上げに対しての未払いである）。

パション氏が、給食の外部委託に関する入札は行われるのかと質問する。

カンペルス校長は、契約は高額となるので、2025 年の 1 月～2 月頃に入札が実施されることになる

決算報告に関する諮問が行われる：

賛成：19 票 棄権：2 票 反対：0 票

5. パートナシップと寄付

カンペルス校長が、本年度、理事会の要請にしたがって行われた調査結果を発表する。

- ショメル氏の協力の下（その支援に感謝します）、企業・個人を対象とした資金調達プログラムを実施するため、また企業を説得するのに最も効果的な方法を特定するための活動計画書を策定した。
- 複数の理事・評議員も集結し、ショメル氏の提案について協議した。

様々な方針・方向性が検討された。

- 企業寄附金制度の見直し
- 一部プロジェクトへの直接投資（フランス在外教育庁主催の学校プロジェクトやリセの改修）
- 本年度、個人による資金援助のおかげで、いくつかのプロジェクトの実施が可能となった。
⇒小さな大使、青少年オリンピック、サッカー場の照明設備（LED）
- 自由意思による寄付
- イベント行事：卒業生アソシエーションの創立 10 周年記念、仏商工会議所主催の企業-学生交流等

また、学校のウェブサイトを更新し、スポンサーやパートナーを前面に出すことも必要となってくる。

協賛者やスポンサー探しは重要な仕事で、専任の担当者が必要である。

ショメル氏が任務を終えて以来、現在、これを担当するものはいない状況である。

詳細については付属文書を参照のこと。

コンシニー氏が、団体が寄付をする代わりに学校設備を使用することは可能かと質問する。

校長が、学校の設備利用は検討可能であるが、授業時間外で、学校に費用負担がないことが条件となると説明（通常の開校時間外に施設を開放する場合、警備、暖房、電気などの費用を考慮する必要がある）。

パション氏は、卒業生アソシエーションの創立 10 周年記念式典をリセで実施し、学校が推進する企業協賛活動の一助としたいと発言。

カンペルス校長は、この提案を全面的に支持すると述べる。次回の理事会でこれを決議し、日時を決定することができる。

保護者代表の一人が、ウレン氏の最後の評議員会にあたり、感謝の意を表す。

18 時 33 分に閉会となる。